

二つの景色を変幻自在に  
研ぎ澄まされた類なき音色

スペシャルサロンコンサート  
舘野泉バースデー・コンサート 2024  
彼の音楽を彼が弾く

# 舘野泉

## ピアノ・リサイタル

2024.

11.2(土) 開場 13:30  
開演 14:00

南相馬市民文化会館 大ホール

### ■チケット 全席自由

友の会会員 1,500円 一般 1,800円  
高校生以下 無料(要整理券)

※未就学児入場不可 ※当日券 300円増し(高校生以下を除く)  
※友の会割引チケット・車いす席は、ゆめはっとでのみ取扱い

### ■チケット発売 2024年9月13日(金) 10:00～

※初日は会館WEB・電話予約のみ  
※会館窓口販売は予約開始2日目(9/14) 9:00より

### ■プレイガイド

南相馬市民文化会館 (WEB24時間/電話・窓口9:00～18:00)

会館チケット予約専用電話 ①080-9171-7342  
②080-9171-7344

ローソンチケット(1234)/チケットぴあ(123-456)/イープラス

### ■お問い合わせ

南相馬市民文化会館 ゆめはっと

TEL:0244-25-2763 (9:00～18:00 / 原則火曜休)

主催:(公財)南相馬市文化振興事業団 後援:南相馬市/南相馬市教育委員会

### Program

パブロ・エスカンデ:  
ナイチンゲールと薔薇の花  
(オスカー・ワイルド)

魔女の夜宴(ゴヤを描く)

Pablo ESCANDE:  
The Nightingale and the Rose by Oscar Wilde  
El aquelarre, Pintando a Goya

ピアノ:舘野泉 (Izumi Tateno)  
朗読:元田牧子 (Makiko Motoda)

平野一郎:水夢譚(すみむたん)

洋琴・笙・尺八・胡弓・琵琶・箏と打物に依るヤポネシア山水譜

HIRANO Ichirô: Suwi-mu-tan [WaterDreamHistory]  
Yaponesian Soundscape for piano, shô, shakuhachi,  
kokyû, biwa, koto and percussion

洋琴:舘野泉 (Izumi Tateno)  
笙:中村華子 (Hanako Nakamura)  
尺八:田野村聡 (Soh Tanomura)  
胡弓:木場大輔 (Daisuke Kiba)  
琵琶:久保田晶子 (Akiko Kubota)  
箏(十三絃):竹澤悦子 (Etsuko Takezawa)  
打物:池上英樹 (Hideki Ikegami)

※「舘野泉左手の文庫」助成による委嘱作・世界初演  
※曲目が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

協力:タピオラの会 企画制作:(株)ジャパン・アーツ

両手とか片手で弾くという次元を超越し、変幻自在の「音色の対位法」といわれる境地。磨き抜かれ澄みわたる音色で切り取られた「ナイチンゲールと薔薇の花」に「魔女の夜宴」の世界。悠然たる静かな強さと広大な風景に寄り添う「水夢譚」。不思議な眺めが広がる。

この11月10日で88歳になる。もはや立って歩行することは出来ず車椅子に頼らなければ動けないが、それでも今年札幌から那覇まで全国縦断し、30公演をすることができた。感謝である。いつまでこの活動が出来るか、それは「神の味噌汁 - かみのみぞしる」であるが、弾ける間は現役の活動を続けたいと思っている。今年のバースデーコンサートでは2つの委嘱作品を世界初演することになっている。といっても両作品が完成するのは秋になってからで、現段階ではどんな作品が生まれるのか分からない。作曲はパブロ・エスカンデと平野一郎の両氏をお願いし、快く引き受けていただいたので心配はしていないが、気候の変化も激しかった春先から酷暑が予想されているこの夏にかけての仕事になるので、産みの苦しみも並ではないと想像される。

ブエノスアイレス出身のパブロ・エスカンデには10年間、毎年一曲の割りで作品を委嘱し、常に質が高く美しい作品を創作して頂いている。私が最も信頼し愛している作曲者のひとりでもある。アイデアも豊富で、一作ごとに新しい世界を創造してくれるので、その意味でも期待は大きい。前作の「Graffiti Area」では異色の画家Banksyの作品をテーマに据え、ヴァイオリンとピアノでスリングな世界を描きだしてくれたし、三手ピアノの連弾曲「音の絵」ではエッシャー「爬虫類」、ルソー「夢」、ゴヤ「砂に埋もれた犬」、カンジンスキー「空の青」などの絵画とも連動した美しくも多彩な世界を見せてくれた。

もし彼が大河ドラマの音楽を担当したらきっと素晴らしいものになるだろうという想いも後押しして、今回の委嘱になったのだが、私が提示したのはピアノ一台によるオペラのようなピアノ作品だった。そしてテーマはスペインの画家ゴヤ。それも宮廷画家としての華やかな時代でなく、40歳過ぎて聳者になり「黒の時代」という、まったく違う世界を亡くなるまで書き続けた執念の世界である。エスカンデはゴヤの他にもうひとつ、オスカー・ワイルドの「ナイチンゲールと薔薇の花」を作曲したいと希望した。これは女優の元田牧子さんの朗読と共に演じられるので楽しみにして頂きたい。

もうひとりの作曲家平野一郎は今まさに円熟期を迎えた人。最近では「鬼の生活」「鬼の学校」の二つの大作を書いて頂いた。特に「鬼の学校」は演奏に45分かかる大曲でありながら、飽きさせない新鮮なユーモア、生命感、ヴィジュアルな演劇性、更に言えば漫画的ともいえる各楽章に魅了され、全国で16公演が行われたくらいの大ヒット作となった。しかし今度は鬼とは別れ、琵琶、尺八、笙、胡弓、琴、打物などの邦楽器とピアノ(洋琴)が大きなヤポネシア空間で出会い調和するのか反発し合うのか溶け合いつつそれぞれが我が道をいくのか全く予測がつかない。いずれはヤポネシアに溶けこんでいくのであろうが、まだどうなるか分からないのである。洋琴を奏でる泉もまだ若い青年で先行き知らず、でも好奇心旺盛に活躍するのだ。

## 館野 泉



©満田聡

## 館野 泉 Izumi Tateno (ピアノ, Piano)

クラシック界のレジェンド。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。「館野泉の左手」のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、130曲に及ぶ。もはや「左手」のことわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿がもたらす、最大の魅力である。

館野 泉公式 HP <https://www.izumi-tateno.com/>

フィンランドで出版された話題の評伝

## 奇跡のピアニスト 館野 泉



2022年にフィンランドで発売された館野泉の評伝。待望の日本語訳が2024年6月発売。幼少期から近年に至るまでの数々のエピソードに加え、館野泉と親交のある人物へのインタビューも収録。日本語版は館野泉氏本人による監修のもと、貴重な写真も追加掲載される。

サリ・ラウティオ 著  
五十嵐 淳 訳  
館野 泉 監修

ISBN 978-4-910731-02-5

定価: 3,300円(税込)

発行: みずいろブックス 発売: 株式会社静風社



## 南相馬市民文化会館

〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町2丁目28番地の1  
TEL : 0244-25-2761 Mail : minamisoma@yumehat.or.jp

### アクセス

- ・JR常磐線「原ノ町駅」下車、徒歩15分(タクシー乗車5分)
- ・国道6号「高見町交差点」より、南相馬市役所方面に車で10分
- ・常磐自動車道「南相馬IC」より、南相馬市役所方面に車で10分

### 駐車場

- ①ゆめはっと西側駐車場 ②原町保健センター前駐車場

※上記以外の場所への駐車は、短時間であっても近隣の店舗等へのご迷惑となりますので、固くお断りさせていただきます。

※②の駐車場は、原町保健センター及び周辺施設の利用状況により、ご利用頂けない場合がございます。

